

# 厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

<http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji>

No.36

2012年8月発行

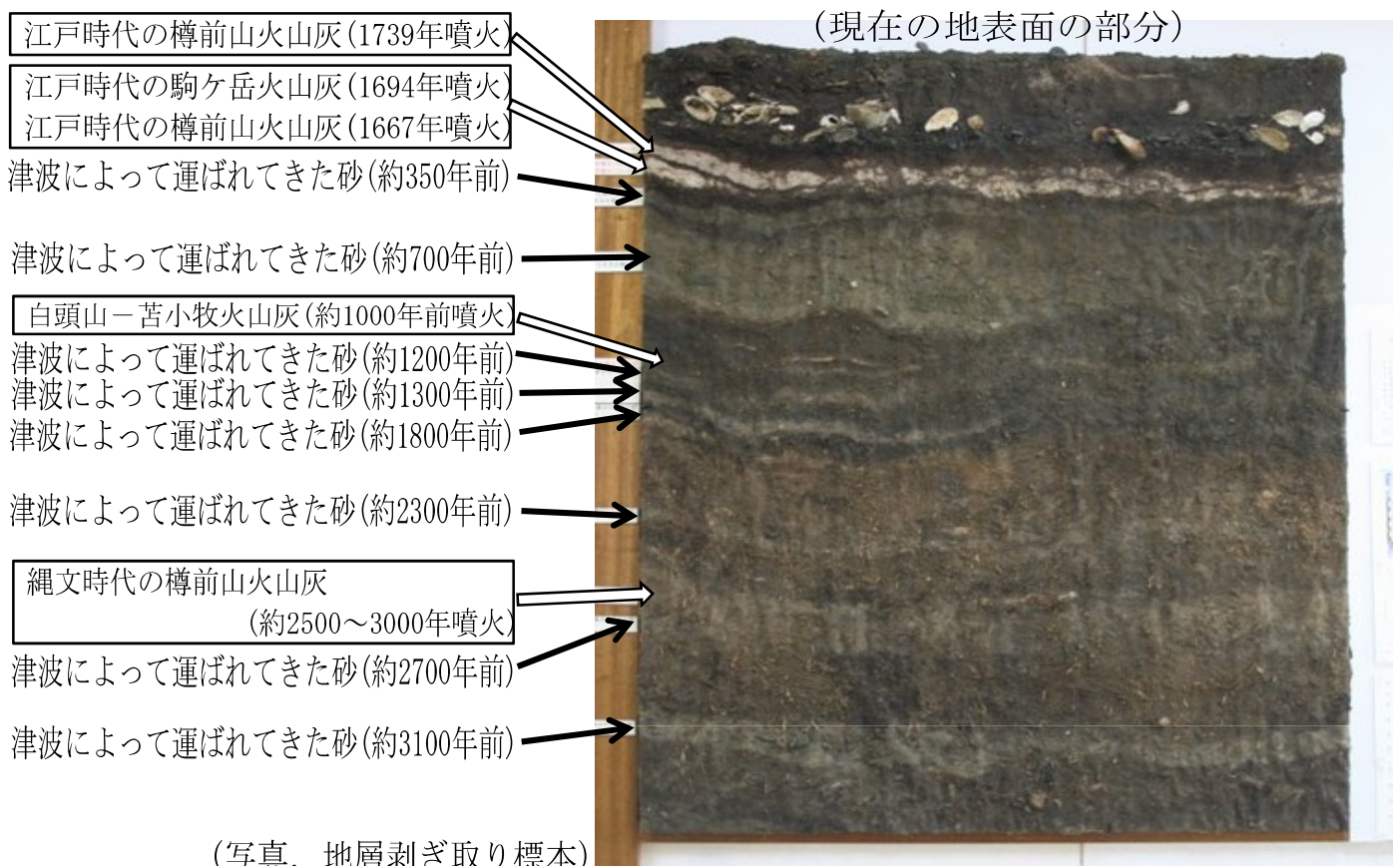
## 津波の痕跡を明らかに～地層の剥ぎ取り標本～

平成23年3月11日、甚大な被害をもたらした東日本大震災は、発生から一年以上を経過したにもかかわらず、多くの人たちの生活、人生に深い爪痕を残したままです。そして、被害の大きかった東北地方から遠く離れた、ここ厚岸町も津波による影響を大きく受けました。この多くの犠牲を伴った出来事を風化させないためにも、今一度、地震津波に備える意味も込めて、過去の記録を知ることは意味のあることだと思います。そこで、今回は、地震津波に関する資料について紹介したいと思います。

下の写真は、地層の剥ぎ取り標本です。平成15年5月13日から17日にかけて、史跡国泰寺跡(厚岸町湾月)の一角で、トレンチ調査が行われ、約2メートルの溝(トレンチ)を掘り、その壁面の地層を詳細に調べました。これは、北海道開拓記念館と(独)産業技術総合研究所活断層研究センター、厚岸町教育員会の三者合同(技術協力:明治コンサルタント(株))で実施したものです。調査期間中は、現地を一般公開するとともに講演会も開催されましたので、ご記憶にある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。その際に地層表面を剥ぎ取り標本としたものが、この資料です。

この調査では、約3500年もの間に厚岸地域を襲ったであろう、巨大地震津波の痕跡を物語る、8つの砂の層が確認されました。さて、この8つの層、なぜ津波と関係があるのでしょうか。北海道開拓記念館の添田雄二学芸員によると、この砂の層を分析すると海に生息する珪藻の遺骸が見つかることなどから、これらの砂が海から運ばれてきたものであることがわかるそうです。つまり、津波による砂の移動があったということです。この資料を見ると、過去に私たちの町を襲った津波の大きさに驚かされるとともに、地震津波への備え、心構えが必要だということを改めて痛感させられます。

なお、この地層剥ぎ取り標本は、現在、厚岸町郷土館に展示中ですので、ぜひ一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。



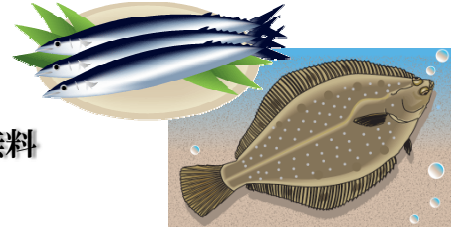
## 平成24年度海事記念館海のパネル展

「気候の変化、海の生き物の変化」「カレイってどんな魚？」開催中！！

厚岸町は、古くから漁業の町として栄え、海と密接に関係しながら、生活を営んできました。しかし、近年の地球温暖化は、身近な魚介類にもさまざまな影響を引き起こしています。

そこで、これまでの調査・研究成果をもとに、(独)水産総合研究センター北海道区水産研究所所蔵のパネル展示を開催します。気候の変化によって、海やそこで暮らすサンマやニシンといった生き物たちにどのような影響があるのか、さらには大型クラゲの発生など、海をめぐるさまざまな出来事をわかりやすく紹介します。また、カレイの生態やマツカワの栽培漁業の取り組みなどについても紹介します。

- 会 期 : 7月25日(水)～8月15日(水)
- 観 覧 時 間 : 午前9時00分～午後5時00分
- 観 覧 料 : 海のパネル展のみ観覧の場合は無料
- 問い合わせ先 : 海事記念館 52-4040



## 子どもの文化財愛護活動推進事業

平成24年度考古学出前講座

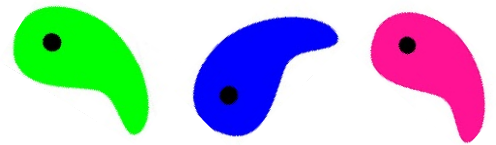
「まが玉を作ってみよう」参加者募集中!!

子どもたちに歴史・文化に親んでもらおうと、北海道文化財保護協会と北海道立埋蔵文化財センターとの共催で、平成24年度考古学出前講座「まが玉をつくってみよう」を開催します。

当日は、北海道文化財保護協会高久忠明さんによる北海道の文化財や地域の歴史についてのお話を聞いた後、勾玉(まがたま)をみんなで作ります。

勾玉は古代人にアクセサリーとして親しまれてきたものです。ぜひ、世界に一つだけの自分オリジナル勾玉を作ってみませんか。最後まで頑張った人には修了証が授与されます。

- 日 時 : 平成24年8月18日(土) 午前9時00分から12時00分まで
- 場 所 : 真龍小学校2階図工室
- 対 象 : 小学5・6年生、中学生 ※小学4年生以下は保護者同伴でお願いします。
- 定 員 : 30名(多数の場合は抽選となります)
- 参 加 料 : 無料
- 申込期間 : 8月11日(土)まで
- 申 込 先 : 海事記念館 52-4040



学習しながら削って



磨いて



まが玉のできあがり!

### 【編集後記】

今回、取り上げた、地層の剥ぎ取り標本ですが、先日、この資料を目的にあるお客様がお越しになりました。それは、ロシア人の地震研究者の皆さんです。北方領土ビザなし交流の専門家枠で来道した方々で、この剥ぎ取った地層をぜひ見学したいということでした。同行なさっていた北海道名誉教授の笠原稔氏からもいろいろと興味深いお話を聞くことができ、大変勉強になりました。“厚岸町にはこんな資料がある”、“厚岸からこういうことが見えてくる”ということをも一人でも多くの人に知ってもらえればうれしいなど、改めて感じた日でした。

(文責 車塚)